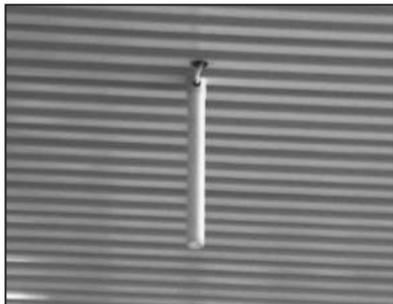


無線LANスポット内で一番使える 「ベストな場所を探そう!」の巻

無線LANスポットを利用している人にとっては、店の中のどの場所で使うかが結構重要なテーマだ。同じ店舗内でも席によって電波の強度がかなり異なるためだ。特にファーストフード系の店は店舗内部が入り組んでいたりと、フロアが分かれていたりで、「無線LANが使える」はずの店であっても場所によってはまったく電波が入らないこともある。結局はアクセスポイントに近い席を探すしかないのだ。そこで今回は、ベストな場所を探す方法を紹介しよう。



text : 五後ケース



アンテナだけ出しているところも多い。

座る場所や人の動きで変わる 電波強度を意識する

店舗で無線LANを使うと、座った場所によって電波の強さが違うのは当然だが、人の動きによって電波の強さが極端に変化する場合がある。たとえばレジ下にアクセスポイントが置かれているような場合、レジで誰かが支払いをしていると電波が弱くなるし、階段の踊り場にアクセスポイントがある場合も階段を人が通過するたびに電波が途切れることがある。そんな場所に陣取ってしまうとストレスが溜まって仕方がない。だから、アクセスポイントがどこにあるのかが重要なのだ。

「アクセスポイントの場所なんて店の人に聞けばいいじゃないか」と思うかもしれないが、普段の店頭にはアルバイトの人が

多いせいか、尋ねても「無線LAN? アンテナ??」というような反応の店員が多く、ほとんどの場合わからない。

電波強度を表示するような小さなカード型のデバイスがあればいいのだが、とある試作品はあってもまだ製品にはなっていない。左下の写真のような製品も発表はされているが、当分発売されそうにない。そこで、当面の打開策として、各事業者や店舗のアクセスポイント設置の傾向をまとめてみることにした。

各事業者、店舗に設置する アクセスポイントの傾向

まずは無線LAN事業者が使うアクセスポイントの形を覚えておこう。基本的(外見的)には2種類の形を知っておけば十分だ。1つはHOTSPOTで使用しているタイプ(東洋通信機など)で、これはかなり大型なので比較的発見しやすい。もう1つが多くの事業者が使っているシステムズのAironet。こちらは小型のタイプなので見つけづらいかもしれない。

これらのアクセスポイントを店のどこに置か、表に出して設置するか、隠して見えないようにするかなどのポリシーは基本的には店に依存しているので一概には言えないが、無線LAN事業者やチェーン店舗などには大体の傾向があるようだ。



iDetect Technology社の
「Wi-Fi Detector (Model WFS-1)」
http://www.idetect.com.sg/

HOTSPOT

HOTSPOTで使用しているタイプは大型なので比較的発見しやすい。しかし、設置している802.11a/b両用タイプは高価なせいか、複数階に分かれている店でも階段付近に1台しか置かれていないことが多い。そんな店の場合(ファーストフードの場合が多い)は、アクセスポイントの確認は必須だ。ちなみにモスバーガーの場合は、設置方法が店によってまちまちだが、客から見える“表”に出していることが多いので比較的発見しやすいと思う。

Yahoo! BB モバイル

Yahoo! BBモバイルは他の事業者と違い、アクセスポイントにYahoo! BBのトリオモデムと同じものを使用している。これは本体にイーサネットからの電源供給ができないので天井や壁に取り付けられている場合は少ない。たとえばルノアールならピンク電話(ピンクとグレーのツートンカラー)の裏や下に置かれていることが多く、そのそばなら一番強い電波がつかめるはずだ。チェーン店舗以外の店でも電話のそばに置かれていることが多い。

フレッツ・スポット

シスコシステムズのAironetをアクセスポイントに使用している。設置ポリシーは設置している店に依存しているようだが、表に出ていることが多い。フレッツ・スポットは全体的にアクセスポイントの配置をよく考えているらしく、多くの店舗で確かめたわけではないが、比較的電波が入りやすいみたいだ。

無線による、駅でのインターネット接続実験

アクセスポイントは基本的に隠す方針で、柱に取り付けたボックス内などに設置されているか、天井からアンテナだけが何気なしに出ていることが多いため、発見するのは困難だ。しかし、ウェブサイトにある地図にはアクセスポイントの場所が詳しく記されているので、その周辺で使うようにすればなら問題はなさそうだ。

ネオモバイル

Aironetをアクセスポイントに使用している。まだアクセスポイントの数は少ないが、非常にわかりやすく設置しているためすぐに見つけられるだろう。たとえば東京駅東海道新幹線11号車付近の待合室なら真ん中付近の天井に張り付いている。ネオモバイルのウェブサイトにもアクセスポイントの詳細な位置が示されている。

Mzone

無線LAN事業者の中で一番発見が難しいのがMzoneだろう。普通に探しても見つからないことがほとんどだと思う。実は筆者はまだMzoneのアクセスポイントを発見したことがない。NetworkStumblerなどのツールで調べると天井の裏やボックスの中などに設置されているようだ。

プロント

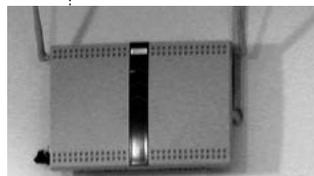
プロントはシスコシステムズのAironetをアクセスポイントに使用していて、比較的目立つ場所(電波を送りやすい場所)に設置している。店内を一回りすればすぐ見つかるだろう。しかしプロントの場合は小さな店でも複数のアクセスポイントを設置していることもあって、どの場所でも比較的電波は届きやすいので探す必要はないかもしれない。

他のチェーン店舗

スターバックス、マクドナルド、ケンタッキーフライドチキン、ウェンディーズなどはアクセスポイントを隠す方針らしく諦めるしかないようだ。しかしマクドナルドの場合は無線LANが使えるスペースを店内に表示していることが多いので、アクセスポイントをわざわざ探さなくてもよさそうだ。



シスコシステムズのAironet。写真はプロント店内。



HOTSPOTのアクセスポイント。かなり大きめ。



ネオモバイルのアクセスポイント。天井にへばりついている。

無線LANスポットで威力を発揮！ USB型アダプターがおすすめ

アクセスポイントの場所を発見できても、運悪く電波の入りが悪そうな席しか空いていないことがある。そんなときは諦めるしかないのだろうか？一部の無線LANカードは外付けのアンテナを付けられるので、それも一緒に持ち歩くという技もあるかもしれない。けれども家庭やオフィス以外で無線LANを使うことが多い人なら、最初からUSBタイプの無線LANアダプターを買っておくほうが役に立つ。アイ・オー・データ機器の「WN-B11/USBS」のようなかなり小型のタイプなら持ち歩くにも苦にならず、USBケーブルで延ばせば好きなところにアンテナ(本体)を置くので、無線LANスポットのそばの店に行ったら窓際にアンテナを置いて無線LANをつなぐなどの反則技も自在だ。



アイ・オー・データ機器のUSB対応802.11bアダプター「WN-B11/USBS」8,500円
<http://www.iodata.co.jp/>





京都発の公衆無線LAN「みあこネット」が考える 強固なセキュリティーを軸にした実証実験の数々

みあこネットが京都で無線LANの実験を開始してから1周年を迎えた。みあこネットは特定非営利活動法人 日本サステナブル・コミュニティ・センターが運営する、“自分たちで費用を負担して街中に公衆無線インターネットの環境を無料で整備する”ための実証実験だ。

Genuine方式からPPTPへ 実験途中で接続方式の 変更を余儀なくされる

当初みあこネットは無線LANの接続方式にモバイルインターネットサービス(MIS)が開発したGenuine方式を使っていた。詳細は省くが、これはセキュリティーに大変優れ、高速なハンドオーバーが可能な方式だった。ある意味で理想的な技術ではあったのだが、インストールが難しい、ドライバーの使い勝手が悪いなどの不便な点に加えて突然MISがサービスを停止するという事態が起こり、別方式を探すことになった。

「みあこネットはセキュリティーとモビリティが強固な点が売りだったのだが、ノートPCを歩きながら使う人は少ないという判断からセキュリティーだけを重視することにした(岡部教授)

結局多くの機種で標準サポートされているPPTPを採用し、“みあこ2”としてこの3月から新しい実証実験を開始した。PPTPにすることにより対応機種が増え、MacOSや内蔵型の無線LANインターフェイスでも利用できるようになった。このた

め、ユーザーの反応はかなりよく、一部のプロバイダーや大学向けのオンラインサインアップの開始時には申し込みが殺到したそうだ。

みあこ2では基地局とみあこネットサーバーの間をVPNで接続したうえで、PCとPDAはさらにPPTPによりサーバー側でユーザー認証を行ってVPN接続する。これにより無線区間の盗聴はもとより、偽基地局設置などの防止にも対応できて強固なセキュリティーを確保している(下図参照)

みあこネットの今後を探る IPv6への取り組みほか “実験”は積極的に展開

“みあこ2”は今のところ、今年の12月末まで“実験”という位置付けになっている。これまでもIPv6への取り組みなどの実験を行ってきた。みあこ2でも、もう残り少ない時間になってはいるが、日本通信のbモバイルとのローミング、京都以外へのアクセスポイントの拡大などのほか、以下のようなことを課題に積極的な活動を行っていくようだ。



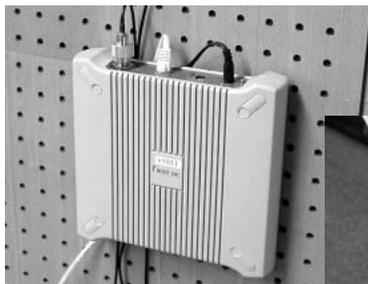
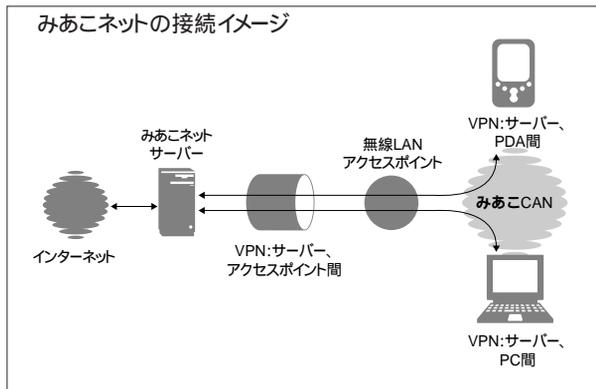
写真左より、財団法人 京都高度技術研究所研究員 古村隆明氏、京都大学 学術情報メディアセンターネットワーク研究部門教授 岡部寿男氏、京都大学 大学院情報学研究科助手 藤川賢治氏。

サーバーの分散

PPTPによる接続はサーバーに負担が掛かってしまい、今後大量のトラフィックが流れる場合があるとパフォーマンスが悪くなることが予想される。そのため認証サーバーを分散する仕組みを構築し、個人などでも認証サーバーが立てられるような仕組みを作って、草の根的な広がりを期待したいとのことだ。

VoIPの利用

藤川氏によって開発されたP2P型のIP電話プロトコルであるNOTASIPを使い、全ユーザーにグローバルIPアドレスを提供してインターネット携帯電話を利用する実験も予定している。これはIPアドレスをそのまま発信番号に使うため、サーバーが不要で低コストに実現できる点が特徴だ。実機のPDAで試したところ、遅延も少なく音質も良好だった。



みあこネットのアクセスポイント。



PDAで実際にVoIPを試してみたところ、音質は良好だった。



JR京都 京都駅ビル

観光客も即日利用可の巨大空間

前の記事に引き続き、みあこネットを取り上げる。鴨川沿いとか、二条城、ねねの道など京都らしいところでみあこネットは使えるのでどこにしようか迷ったのだが、やっぱり一番便利そうな京都駅を紹介することにした。

建設が決定する前までは賛否両論だった京都駅ビルも、京都の人にとっても今ではすっかり京都の顔になっているみたいだ。しかし、今さらながら思うが、デカイ!! デカすぎる……。そんな巨大なビルの内側にあるこの巨大な空間の好きなお店で、みあこネットは使えてしまうのだ。

みあこネットのアカウントを持っていない旅行や仕事で京都を訪れるような人でも、駅ビル2階の「駅ビルインフォメーション」で一週間限定で利用できる一時アカウントを入手できる。申し込みのときに氏名、住所、電子メールアドレスなどを申込書に記入するだけですぐに発行してもらえる。取得したアカウントは駅ビルだけでな

く、みあこネットのアクセスポイントがあるところならどこでも使える。

前述のように接続はPPTPで行う。ウィンドウズ98以降やMacOS 10.2以降なら標準で入っているのが、無線LANカードの設定さえ事前にしてあれば現地で慌てることはないだろう。

アクセスポイントは、10階の西ゾーンと東ゾーンをつなぐ空中径路の下の3か所に設置されているので、空中径路の底が見える範囲ならたいていのところで電波が入る。また、駅前広場北側の京都タワー周辺や東西のビルなどにもアクセスポイントが設置されているので、駅ビルの外にいても使える可能性が高い。周囲には電源を利用できる場所はないが、もし緊急で電源が必要になったら八条口近くにあるマクドナルドへ行こう。残念ながらみあこネットは使えないが、電源が用意されているのでメールの読み書きだけならここで済むといいだろう。



ビルの内側にある巨大空間。ここで見える範囲ならどこでも使える。



みあこネットのウェブサイト。
URL <http://www.miako.net/>



2階の駅ビルインフォメーション。アカウントはここで発行してもらえる。



有名な大階段でも9階くらいまでのところなら利用可能だ。



八条口のマクドナルドにあるカウンター席。電源はあるのに無線LANスポットではない。残念だ。

京都駅ビルデータ

アカウント発行時間: 10:00 ~ 19:00
(駅ビルインフォメーション)
住 所: 京都府京都市下京区
JR京都駅
電話番号: 075-361-4401
(駅ビルインフォメーション)

URL <http://www.kyoto-station-building.co.jp/>

利用条件: みあこネットのアカウントが必要



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp